令和７年度 福祉施設合同訓練（ＢＣＰ災害編）

【大分県福祉避難所連携体制構築支援事業】

福祉施設合同訓練【大分県福祉避難所連携体制構築支援事業】を実施しました。この訓練では、いつ起こるかわからない災害（有事）に備え、社会福祉施設として ①入所者・職員の命を守る ②社会資源である施設として、地域住民の受け入れ（福祉避難所） ③福祉施設・関係機関との協力体制の構築 を目的に行ったものです。

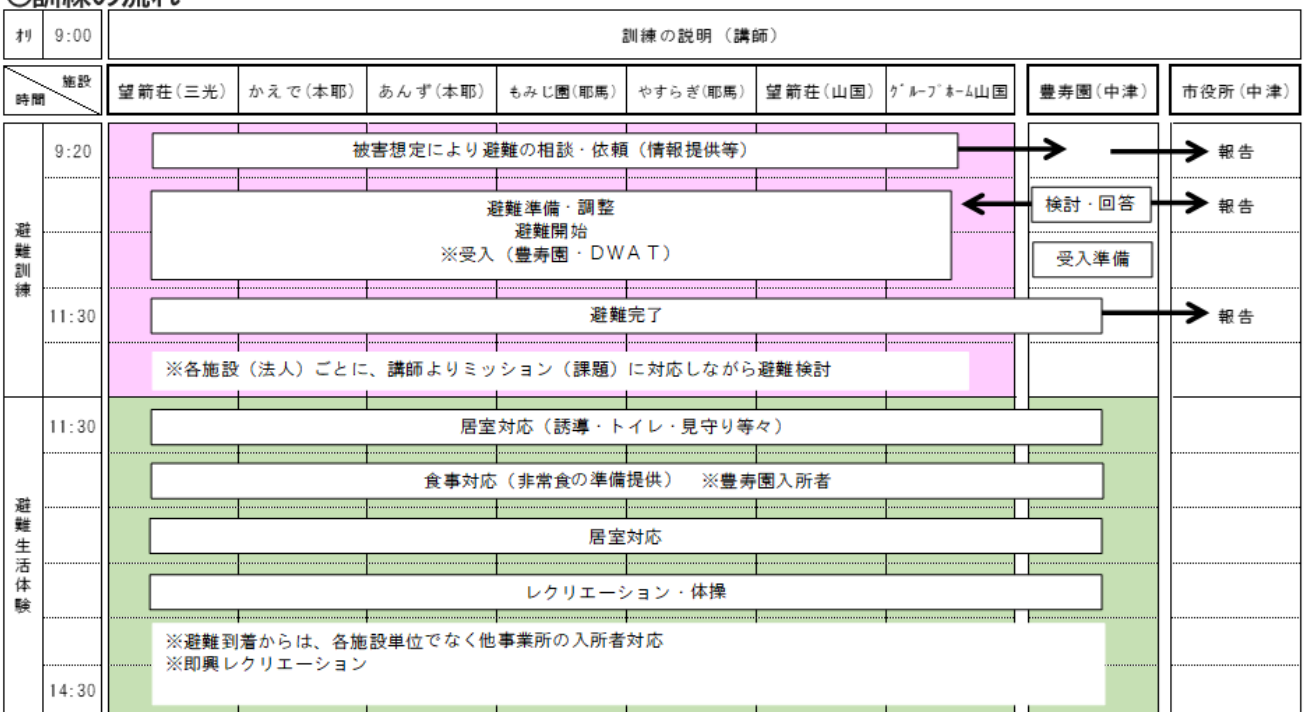
日　　時：令和７年１０月１５日（水）午前９時から
講　　師：ＮＰＯ法人リエラ 代表理事 松永鎌矢氏
参加施設：特別養護老人ホーム望箭荘・特別養護老人ホーム望箭荘やまくに・特別養護老人ホームかえで・特別養護老人ホームやすらぎ荘・グループホーム山国・グループホームあんず・もみじ園・養護老人ホーム中津市豊寿園
協力機関：大分県・中津市・大分県社会福祉協議会（ＤＷＡＴ）・ＮＰＯ法人リエラ
主　　催：中津市社会福祉協議会（養護老人ホーム中津市豊寿園）

中津市における福祉避難所の開設・運営合同訓練の概要

○訓練想定

・梅雨時期、線状降水帯の発生により、今後、警戒レベル５の大雨特別警報の発令が予測される。
・気象庁から段階的に警戒レベルの発表があり、その発令に対して、各施設のＢＣＰを発動し体制を整える。
・警戒レベル３（大雨・洪水警報、高齢者等避難など）の発令により、各施設は避難行動を開始。
・警戒レベル４（氾濫の危険情報、数時間後に大雨危険情報など）の発令時は、避難が完了の予定。
※ 各施設の管理者（施設長）は、県外出張のため不在の状況。

○訓練の流れ



［訓練開始］

進行：講師　ＮＰＯ法人リエラ 代表理事 松永鎌矢氏

○ 訓練説明・諸注意

・災害は想定通りにならないことの方が多く、状況に応じて柔軟に対応する必要があります。

・本訓練では決められていることを反復練習するのではなく、状況に合わせて柔軟に対応する ロールプレイ形式で行います。そのため、訓練 中は「出来なかったこと」より「出来たことや 改善点」を見つけるようにしてください。

・訓練の進行中、リエラから細かな行動の指示 が出るわけではありませんので、施設毎で考えながら行動してください。

○ 警戒レベル２

・雨が降っています。山国川は水位が増したため、氾濫注意情報、大雨・洪水注意報が出されている状況です。

・線状降水帯の発生の恐れがあることから、気象庁から注意喚起がなされています。今後、九州北部（中津市）に経験したことがないような大雨 が降る見込みです。警戒レベルを意識しながら身を守る行動及び避難してください。

	警戒レベル	状　況	避難情報等		とるべき行動
災害発生	レベル５	災害発生又は切迫	緊急安全確保	市町村が発令	命の危険 直ちに安全確保！
危険	レベル４	災害のおそれ高い	避難指示	市町村が発令	危険な場所から全員避難
警戒	レベル３	災害のおそれあり	高齢者等避難	市町村が発令	危険な場所から避難に時間がかかる人と支援者は避難
注意	レベル２	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報	気象庁が発表	情報収集を開始する 避難に備えて、自分の避難行動を確認する
留意	レベル１	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報	気象庁が発表	

○ **避難開始**

・避難する必要のある施設は 中津市豊寿園と調整し、避難してください。

○ **各施設のミッション**

養護老人ホーム中津市豊寿園	DWATと連携して、避難者の受け入れ及び避難者支援を行なってください
特別養護老人ホーム望箭荘	非常持ち出し品を準備して入所者と避難してください
特別養護老人ホームかえで	他事業所から輸送車両を確保して、入所者と避難してください
グループホームあんず	他事業所から輸送車両を確保して、入所者と避難してください
特別養護老人ホームやすらぎ荘	医療的支援が必要な方を避難させてください
障害福祉サービス事業所もみじ園	利用者を避難させてください
特別養護老人ホーム望箭荘やまくに	電源が必要な入所者を避難させてください
望箭荘グループホーム山国	看護師不在のため、発熱している入所者(医療的支援が必要な方)を避難させてください

○ **避難先の状況**

・避難先の豊寿園はライフライン等問題なし。

電気○ トイレ○ 水道○ 通信○ ガス○

○ **警戒レベル３**

・雨が降り続き、山国川の水位が増しています。氾濫警戒情報、大雨・洪水警報が出され、中津市は警戒レベル３「高齢者等避難」を発令しました。

Mission１…

情報共有シートをもとに、避難調整を行ってください。耶馬溪地区で停電が発生したため（通信・ネット：○)、商用電源を使用しない端末を活用してください。

・更に雨が強くなってきました。

Mission２…

（避難施設）避難経路の確認、非常持ち出し品の準備を行な ってください。

（受入施設）避難者の受け入れに向けて、設営や避難スペー スの準備を行なってください。

○ **警戒レベル４**

・猛烈な雨が降り、山国川で氾濫危険情報が出されました。土砂災害の恐れも高まり、土砂災害警戒情報が発令され、中津市は警戒レベル４「避難指示」を発令しました。

Mission３…

中津市豊寿園に到着後、豊寿園スタッフの指示を仰いで、避難者のサポートを行なってください。

○ **避難完了・避難生活体験**

・避難完了後、非常食体験や居室での生活体験を行い、訓練が終了となる。

中津市における福祉避難所の開設・運営合同訓練（各施設の現状と具体的な動き）

1

	望箭荘（特養）	かえで（特養）	あんず（グループホーム）	もみじ（障害者福祉サービス）	やすらぎ荘（特養）	望箭荘やまくに（特養）	望箭荘グループホーム山国（グループホーム）
ハザード	河川氾濫	土石流	土石流	土砂災害 河川氾濫	土砂災害	土砂災害 河川氾濫	土砂災害 河川氾濫
職員数	70名	39名	9名	15名	80名	33名	15名
入所･利用者数（定員）	50名 （入所50名）	38名 （入所29名、ショート9名）	18名 （18名）	35名 （40名）	80名＋α （入所80名、ショート20名）	26名＋α （入所29名、ショート9名）	9名 （18名）
施設課題	避難者用食事等持ち出し準備物の選定	認知症等入所者の安全確保	認知症等利用者の安全確保	判断能力の低い利用者の安全確保	医療的ケア用電源供給	医療的ケア用電源供給	常駐看護師が不在
避難者数（職員）	2名 （2名）	4名 ※3名残 （2名 ※1名残）	8名 ※2名残 （2名 ※1名残）	3名 （1名）	2名 （1名）	1名 （1名）	1名 （1名）
避難者容態（想定）	食事形態	車椅子使用者	車椅子使用者	障がい者	医療的支援を要する者	医療的支援を要する者	傷病者
避難方法	送迎車 （施設所有）	リフト車 （施設所有2台＋レンタル：ハイエース1台、軽1台）	リフト車 （施設所有1台＋レンタル）1台 ※かえでと兼	送迎車 （施設所有）	送迎車 （施設所有）	送迎車 （施設所有）	送迎車 （施設所有）

避　難

中津市豊寿園（養護）

■ハザード　：非該当
■職員数　：39名
■入所･利用者数（定員）　：60名
■受入可能人（床）数　：20名
■施設課題　：養護老人ホームのため、支援者スキルの不足

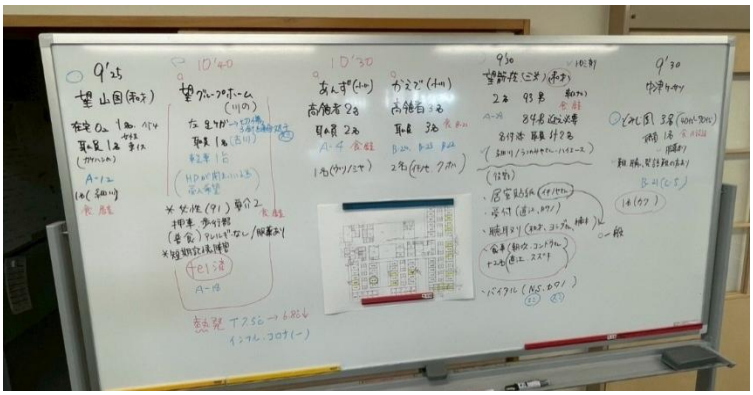
出展：https://nakatsu-s.or.jp/activity/houjyuen/

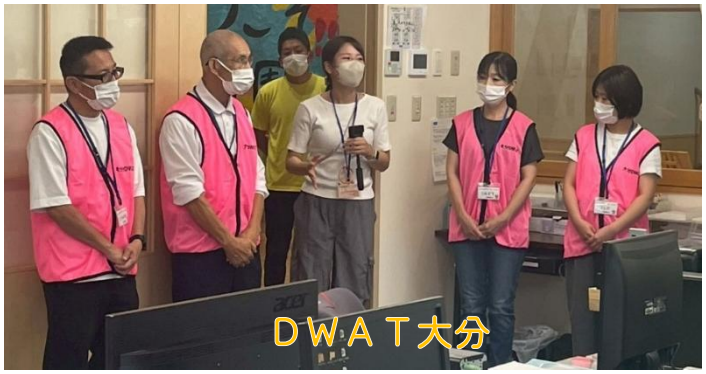
報告

中津市

［訓練の様子］

［訓練の様子］





［振り返りの会］

日　時：令和７年１０月２２日（水）午後１時３０分から

場　所：養護老人ホーム中津市豊寿園会議室・ＺＯＯＭ

「振り返りの会」では、ＮＰＯ法人リエラ 松永氏の進行により、訓練を通しての気づきとして「避難」「避難生活」「持出品」「福祉施設連携」「改善」のカテゴリーで、良かった点や反省点を話し合い今後に向けての課題を整理しました。

さまざまな意見が出された中で、参加者が共通し多く出された感想が、

“お互いに、助け合う気持ちで、普段から顔の見える関係づくりが大事！”でした。